

会 議 録

平成 30 年度 コンソーシアム会議第 3 回

開催年月日・召集時刻 平成 31 年 3 月 19 日 午後 14 時 00 分

開催場所 和光市保健センター1 階予防接種室

開 会 時 刻 午後 14 時 00 分

閉 会 時 刻 午後 15 時 00 分

出席委員

事務局

保健福祉部長	星野 裕司
保健福祉部次長兼健康保険医療課長 兼保健センター所長	大野 孝治
健康保険医療課長補佐	渡部 剛
健康保険医療課統括主査	梶原 絵里
健康保険医療課管理栄養士	石崎 奈菜
健康保険医療課管理栄養士	吉田 智子

欠席委員

備
考

【庶務】

発言者	会議内容
<p data-bbox="193 208 392 241">司 会</p> <p data-bbox="193 495 392 528">星 野 部 長</p>	<p data-bbox="416 208 1406 387">それでは、ただ今より、食育推進コンソーシアム会議第3回会議を始めさせていただきます。本日司会を務めます、保健センター所長、私大野と申しますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは次第に従いまして進行させていただきます。</p> <p data-bbox="416 398 1406 488">会議の開催にあたりまして、保健福祉部部長 星野より、ご挨拶をさせていただきます。よろしく願い致します。</p> <p data-bbox="416 499 1406 723">皆様、あらためまして、こんにちは。本日はお忙しい中をお集まりいただきまして、ありがとうございます。一言ご挨拶させていただきます。最近の市民の健康ブーム、だいぶ高まってきたのかなという風に私は思っているのですが、また、同時に食塩の関心が非常に高まっている、これが全国的に高まっているような感じがしております。</p> <p data-bbox="416 734 1406 1059">私はNHKの番組をよく見るのですが、「サラメシ」という番組を皆さん見ると思います。ああいう食に対してどういうものを食べているか、それから朝ごはんの現場というのは、朝のNHKニュースの中での一環で、仕事場でどういう朝飯を食べているのかということをやっております。そういう風に食の関心が強くなってきている所なんです、人生100年時代というのを迎えておりまして健康で長生きする人が非常に増えております。</p> <p data-bbox="416 1070 1406 1205">全国では今100歳以上が6万9千人ということになっております。これは昨年9月の敬老の日の統計ですが、その時点で6万9千人です。</p> <p data-bbox="416 1216 1406 1350">もっとこれからは増える予定なのかなと思っております。ちなみに和光市では、現在18名いらっしゃいます。その時に敬老の日に私も訪ねたのですが、和光市の敬老の人数は4人でした。</p> <p data-bbox="416 1361 1406 1877">そういう形で結構長生きをされている、そういう中でやはり健康で快適な生活を送るということは誰もが願っていることなんです、健康で長生き、ただ長生きするんじゃなくて健康で長生きということが、一番大事かなと思うのですが、和光市の方では健康マイレージ事業という形で埼玉県の実業に参加をしていて、全部で約920名かの健康マイレージ事業に参加していただきました。そういう形で歩数計を持って、毎日歩いて計測器の所で測っているような、それと同時に和光市で推進しているのが食育、これに力を入れております。この食育の方は、食事は毎日3回とるわけですので、そういう、その3回摂る中でやはりおろそかにしてはいけないものがたくさんあるのかなという風に思います。</p> <p data-bbox="416 1888 1406 2022">また和光市の通院医療費、この統計ですが、こちらの黄色い紙が一番後ろにありますけど、和光市では通院医療費の何が多いかというと、1位はやっぱり、糖尿病ですね。2位が高血圧。3位が腎不全。</p>

<p>司 会</p> <p>事務局 (吉田)</p>	<p>人工透析される方は通院医療費が多い。で、入院医療費では、脳卒中とかそういうものが増えているということなのですが、この1、2、3位の通院医療費で、やはり糖尿病、高血圧、この部分は食で解決をしていける、そういうものが可能なのではないかと感じております。市民の皆様の中に、食にもっと興味をもって関心をもっていただけるようにこの食育推進コンソーシアム会議の中でいろいろなご意見を伺いながら、改善を図っていければと思っております。</p> <p>本日の議題、2点ございますので、平成30年度実施事業についての報告、それから、平成31年度の取組の予定についての案ということなので、皆様から忌憚のないご意見を伺いながら、活発なご意見を伺いながらこれらを協議していければなということで本日はどうぞよろしくお願い致します。</p> <p>ありがとうございました。それでは議事に進めさせていただきます。</p> <p>平成30年度の実施事業について、それでは、今年度実施事業の振り返りをした上で、次期食育推進計画とそれを踏まえた次年度の予定について協議を進めてまいります。</p> <p>なお、本日は新規参加をご検討中のファミリーマート様と朝霞保健所管内地域活動栄養士会のえぶろん様が会議を傍聴しておりますので、よろしくお願い致します。それでははじめに、平成30年度実施事業について、担当よりご報告をいたします。</p> <p>健康保険医療課の吉田です。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>最初に、議事の(1)平成30年度の実施事業について、お手持ちの資料1に沿って、こちらのスクリーンでご説明させていただきます。2ページをご覧ください。</p> <p>まず、計画の理念と方針についてですが市では、医療費の適正化に資する生活習慣病の発症・重症化予防が喫緊の課題となっており、市民の生涯にわたる健康づくりを推進するため、食育基本法に基づく、「第三次和光市食育推進計画」を第二次健康わこう21計画における食生活分野の施策推進を担う実行計画として位置づけ、平成30年3月に、第二次健康わこう21計画と一体的に策定しました。第三次和光市食育推進計画の基本方針は①～⑤になっております。3ページをご覧ください。</p> <p>先ほどの施策を展開するために、食育コンソーシアム会議を通じて、減塩・減糖減脂を主とした疾病の発症および重症化の予防に重点を置いた取組や自己の健康に関心と責任を持ち、自己の管理能力の向上のための食育、そして、健康的な食生活の日常への定着など、地域の中でも健康に気を付けた食事がとれるような食環境づくりを、公民協働で実施することにより、より実効性を高めていく。その結果として、生活習慣病やその重症化を予防し、医療費・介護費の適正化にも</p>
----------------------------	---

寄与していく、というのが食育コンソーシアムの目的になります。

次に4ページをご覧ください。

今年度の取組について、ご説明させていただきます。

今年度は、「わこう食育推進店」や「食育認定マーク」の普及、促進といった、健康的な食生活の情報提供や発信の食環境づくりのところで、みなさまにご協力をいただきまして、関係事業所との足固めの年であったと思います。

また、11月に行われました、市民まつりの健康フェアで食育啓発事業としてコンソーシアムメンバーの皆様と一緒に市民へ情報を発信しました。

まず、点線の○でお示した箇所の具体的な活動内容を5ページにまとめましたので、ご覧ください。

1) の紙面による周知として、

市内のセブンイレブン様7店舗の店内に「わこう食育推進店」や「バランスよくたべるための、商品の選び方のポスター」、また、食べ方プログラムとして、「主食・主菜・副菜のおすすめの組み合わせ方」などのポスターを昨年8月から、掲示していただき、今年に入って、リニューアル版を掲示していただいております。

また、「わこう版食育」のリーフレットを作成し、各事業所様にご協力を頂いて市民の方へ配布したり、市民まつりでも配布しました。リーフレットの内容につきましては、お手持ちの資料3の、「わこうの食育」をご覧ください。

次に2) の広報やホームページに掲載のところでは、広報につきましては、6月が食育月間という周知も含めて、食育コンソーシアムメンバーの食育活動を掲載しました。子供向けとしては、食文化研究会様の活動で、市内保育園でのパン作り体験や、農業後継者倶楽部様には、芋ほり体験を、池田物産さまには、だし講座を行っている内容を掲載しました。大人向けの情報としては、市内スーパーでの、食育マークによるPRや店頭でのレシピ配布や試食などを行っている情報を掲載しました。

来年度も引き続き、6月の広報に食育活動の内容を掲載したいと考えております。

また、ホームページにつきましては、減塩レシピの掲載や「わこう食育推進店」の紹介をアップしています。

この減塩レシピは、イトーヨーカドー様の1階食品売り場のッキングサポートにて、配布し、あわせて、試食提供もお願いしており、毎月、食育の日の19日に、お昼前の11時半ごろから夕方にかけて、(担当の方々の昼休憩を除いて)、レシピに掲載しているメニューの2品、約100食をお客様にご提供いただいております。

<p>イトーヨーカドー (大橋様) 事務局(吉田)</p>	<p>そして、3)の食育認定マークやポスターによるヘルシー商品の情報提供については、「わこう食育推進店」にご登録いただきました、市内スーパーさまや事業所さまの、ご協力をいただき、健康的な食生活の情報発信を行いました。</p> <p>「わこう食育推進店」につきましては、市民の食生活改善を図ることを目的に、健康に配慮したメニューや健康情報を提供する店舗等を「わこう食育推進店」として登録し、地域全体でPRしていくというもので、現在7か所の店舗や事業所様にご登録いただいております。</p> <p>各店舗では、「わこう食育推進店」の普及促進実施要領に基づき、登録基準に該当する商品に、「減塩」・「減糖」・「減脂」・「野菜たっぷり」、「わこ産・わこ消」といった食育認定マークを添付させていただいております。</p> <p>また、5月に行われました「緑化まつり」では、農業後継者倶楽部様に「わこう版食育」として、わこう産野菜に「地産地消」の食育認定マークを掲示しPRを行っていただきました。食文化研究会様には、和光市の旧休耕地を開墾して栽培した、小麦などを使用して作ったうどんに「わこ産わこ消」のシールをはって、公民館まつりなどで地産地消の周知をしていただきました。</p> <p>この他に、市民向けのお届け講座などでも、情報発信を行いました。そして、このような情報発信の取組を昨年7月から進めて、市民への認知度を把握するにあたり、市内各スーパー様にご協力をいただき、昨年の9月～今年の2月までの、売上げをご提示いただきました。6ページをご覧ください。</p> <p>イトーヨーカドー様では、減塩・減糖・減脂などの食育認定マークの該当商品199品中(2018年12月時点)プライベート商品の中から、5品の売り上げ情報をご提示していただきました。その5品とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まるやか減塩しょうゆ ・減塩30%あらびきウィンナー ・減塩30%ロースハムスライス ・低脂肪牛乳(1000ml) ・プレーンヨーグルトです。 <p>こちらのデータをいただきました、イトーヨーカドー和光店 管理統括マネージャーの大橋さんに、ご意見を伺いたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>はい、イトーヨーカドーでございます。ご意見、何を話せばいいですか？</p> <p>食育認定マークを付けまして、すぐに影響があるというのは難しいかとは思いますが、もし、そういったマークのことで、何かお客様から聞かれたことや、何か影響があったようなことがあったら、お話</p>
---------------------------------------	--

イトヨーカドー
(大橋様)

しいただけたらと思うのですが。

では、あの、私の率直な感想で申し上げさせていただきます。こちらに今 5 品目並んでいます、売上げが高い低いそれぞれありますけれども、皆さん見ていただいて、お気づきかと思いますが、減塩しょうゆと減塩ロースハム、これもほとんど月ごとで売上げ数量が変わってないですね。ご購入いただいたお客様に一人一人聞いたわけではないので、はっきりしたことはわかりませんが、おそらくある一定の何かしらのこういうものを求める方がいらっしゃって、その方がコンスタントに買っていてから月々の変動がないと思われまます。ほかの牛乳ですとかヨーグルトっていうのは非動性の高いものですし、他に低脂肪、他にもいっぱいありますけれども、別に低脂肪ならいいやってことで牛乳を買われていく方もいらっしゃると思うので、だから、月ごとの変化も大きくあったりするのかなど。何が言いたいかというと、先ほど、手前どものクッキングサポートで毎月 19 日にメニュー提案して、やっているってお話しされたんですけど、もっとね、ぜひ活用していただきたいなど、個人的には思っているんですね。で、例えば、ここに 5 品目出ていますが、食育に健康増進ということを目的にするのであれば、そのはっきり言って減塩のものってどっちかっていうと、美味しくないですよ。こんな言い方をするのはあれですけど。減塩のものを使っても、もしくは塩分を抑えても例えばこんな商品野菜とかね、自然にでてくる味をこういう調理の仕方をすればもっと自然な味で、それだけでおいしく提供できて健康にも役立つんですよというような、そういったメニューを提案できると、もっともっと活用できるようになってくるんじゃないかなという風に個人的には感じていますので、ぜひ、次回、そういう提案があればすごくいいかなと思います。あともう一つ、例えば旬のものをいかに提供できるかってところも興味が引くところだと思います。今月の今日、19 日で食育のクッキングサポートでメニュー提案をしているんですけど、今月は旬の野菜を取り入れたメニューになっていたんですね。そういったのは、おもしろいかなって感じたんですけど、ちょっとそんなところを、あくまで個人的な意見ですけども、取り入れていただけると、少し変わってくるかなと思いますので、ぜひ、また、活用していただきたいなと思います。

以上です。

事務局 (吉田)

ありがとうございました。

今、いただきましたご意見を来年度、事務局の方で考えて実行出来たらと思います。ありがとうございました。

続きまして、7 ページをご覧ください。

いなげや和光新倉店様にも、食育認定マークの該当商品 210 品中ブ

<p>いなげや店長 (坂巻店長)</p> <p>事務局 (吉田)</p>	<p>ライベート商品 5 品の売り上げデータをご提供頂いております。 内容としましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分けて食べられる 1 日分の野菜キャベツミックス ・いなげや食卓セレクト徳用減塩おみそ汁 ・ライトツナフレークスーパーノンオイル (缶) ・生乳 100%プレーンヨーグルト ・栄養バランス弁当の 5 品です。 <p>では、いなげや和光新倉店 店長の坂巻様にお話しを伺いたいと思います。では、よろしく願い致します。</p> <p>いなげやの坂巻と申します。グラフをみますと、顕著に何か数字に出ているかとしたら、そうではなく、栄養バランス弁当というのは季節の野菜を取り入れて、季節ごとに変わりますので、まあ、秋口ってというのは食欲の秋ですので、そういった、旬の素材とかもあってやっぱり売れるんですけれども、冬場は旬のものがさほどなくて、かえられるべき商品がなかったりすることがありまして、9月 10月 11月と売れ筋なんですけれども、12月 1月 2月と売れてなくて、いま、春のタケノコだとか、そういったご飯とかいうのもありまして、今、また売れているんですけれども、栄養バランス弁当につきましては、大きな和光市からの大きな貢献にして簡単に評価しております。あと、先ほど 210 品目というふうに言いましたけれども、210 品目の商品のリベートの改廃、新規登録商品であったり、改廃して下さっております、お店ではそういったメンテナンスもできないし、リベートを動かすこともできないのですが、保健センターの方が、まめに来ていただいて、その改廃をして下さって、とてもありがたいと思っております。私も糖尿病で先生の方では、砂糖よりもパルスweetを使った食事をしてほしいとか、栄養士の方にも言われるんですけど、それなりに見について、自分が買い物についてもパルスweetは買わないで砂糖を買ってしまう。もちろん調味料も減塩と普通のがあれば、そういうものを買ってしまうんですけど、お店で言うと、減塩・減糖のリーフレットがついて和光市におすすめていうのをつけていただいていますので売り場に立った時に、ちょっと気にしている方は、減塩のを買おうかとなると思いますし、和光市でこんなことやっているんだというのを見ていただいて、お客様には理解していただけているのではないかなと思っております。お店としても積極的に協力していきたいと思っておりますし、そういった商品の売れる商品はもちろんうちのお店も売れるようになるわけですので、なんとしても協力していきたいなと思っております。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>食育認定マークを各店舗において掲示を始めて、約 8 か月経ち、市民</p>
--	---

への周知としては、まだまだだと思いますが、ご来店いただいた方々が健康意識を少しでも向上していただけるよう、食育認定マークの該当商品の周知などを今後も継続することで、食環境を整備してまいりたいと考えております。

また、市としても、「わこう食育推進店」や「食育認定マーク」を積極的にPRしていきたいと考えております。

各店舗様へは、お忙しい中、ご迷惑をおかけしておりますが、今後も引き続き、この取組を継続していきたいと考えております。どうぞ、ご協力をよろしくお願い致します。

次に、8ページをご覧ください。

今年度の取組の中の赤い二重丸の部分についてご説明申し上げます。

9ページをご覧ください。

まず、昨年9月～11月までに行われた集団健診の健診結果説明会で「わこう版食育の周知」を目的として、毎月、「食育のリーフレット」を配り、この配布数を「周知としての1つの指標」としました。対象は、和光市国保加入者で、40から74歳の集団健診受診者のうち、特定保健指導で、いわゆるメタボに該当した方で、動機付けや積極的支援が必要な方に、食生活の見直しなどのきっかけづくりとして、面談や、委託業者を通して支援資料を送付する際に配布しました。詳しくは、お手元の資料をご覧ください。

次に生活習慣病リスク対象事業について、ご説明させていただきます。

10ページをご覧ください。この事業は、脳梗塞や心筋梗塞などの入院履歴のある方を対象に保健指導を実施している事業で、和光市国民健康保険被保険者の生活習慣病の重症化予防を目的としています。対象者は、過去2年間のうち脳梗塞、くも膜下出血、心筋梗塞で入院履歴がある人から、年齢、受診状況を勘案し、抽出しています。平成30年度は、95名抽出し、その中から、国保喪失や転出により、対象外となる人数を除外して文書を発送し、訪問やご来庁いただいて、保健指導を実施しました。

面談をした方11人に対し、食生活の見直しや環境整備、そして、減塩の必要性がある5人の方にリーフレットを配布し、現在も支援を継続しています。次に11ページをご覧ください。

リスク改善対象者事業例として、南地域包括支援センターより相談がありました、Dさんについて、フォローの1例を次にまとめました。この方は、脳出血による右半身麻痺などの症状があり、再発予防といった目的で、昨年秋よりフォローしています。

ご本人のご意向としては、元の職場に復帰できるように頑張りたいという気持ちがあり、訪問による栄養指導を行いました。

春にはご本人の職場復帰の希望もあることから、行動計画を作成し、再発予防も含めて、実際に作った料理の塩分測定などを行いました。先月の訪問では、職場復帰後の活動量に見合った基本的な摂取エネルギーの指導や仕事との両立ができる食事法や改善策を提案し、食事バランスガイドを使用して、食品の組み合わせ方や量等を説明しました。

この他に買い方プログラムやセブンイレブンのセブンミールのカタログなどの紹介や、外食時のバランスの整え方などの指導を行うと共にわここの食育推進店のPRを行いました。

今後の予定としましては、職場復帰後のフォローとして、再発予防のための保健指導を行っていく中で、食育の取組について、確認をしてまいります。また、このような個別リスク対応として、次年度も「わここの版食育」をからめた、情報を数多くの対象者の方へ、発信していきたいと、考えております。

次に12ページをご覧ください。

「わここの食育推進店」の認知と食に関する知識の普及の評価として、リーフレット配布数を実績とし、先ほどの健診後の特定保健指導で配布したリーフレット以外に、H30年10月から今年の3月までに配布したリーフレットの枚数をまとめました。

主に市民まつりの事前告知や各事業所様から個別に書類を発送する際に同封していただいた枚数と、健康マイレージの体力測定会でご来所いただきました方へや各事業での配布の合計枚数は633枚でした。

この時点で、リーフレットの合計配布数は、特定保健指導と生活習慣病リスク改善対策事業、そして各事業所で配布していた数をあわせて、937枚です。最終的に配布した枚数は、後ほど、ご説明させていただきます。

次に、昨年11月11日に行った、市民まつりの健康フェアでの食育啓発につきまして、ご報告させていただきます。

13ページをご覧ください。

今年度は、コンソーシアム会議にご参加いただいております皆様は、事前に運営会議などでお集まりいただき、展示ポスター作成などの準備を進めて参りました。

実施体制としては、こちらのコンソーシアム会議メンバーの中で、前回の第2回会議での提案を受けて、手を上げてくださった企業団体に実行メンバーとなっただき、実行メンバー内で打合せを重ねて、実施、運営しました。

今回の実行メンバーは、イトーヨーカドー様、いなげや様、駅前商店ひまわり様、セブンイレブンジャパン様、池田物産様、農業後継者

倶楽部様、ぼけっとステーション様、わこう暮らしのいきいきサービスプラザ様、和光福祉会様、各子育て世代包括支援センター様、その他、市の健康講座を受けたヘルスサポーターさん、試食の調理や盛り付けに食生活改善推進委員さん達、そして、市の担当課に、ご協力をいただきました。ありがとうございました。

市民まつりの食育啓発内容としては、食育認定マークを通じた、地域における環境づくりと市民に対する健康情報の発信を推進し、「わこう食育推進店」の周知・普及を図るとともに、食生活の見直しときっかけ、そして、減塩・減糖・減脂の意識づけを促す場とすることを目的としました。

14ページをご覧ください。

展示につきましては、「わこう食育推進店」の紹介を兼ねて、セブンイレブン・ジャパン様にはセブンミールの紹介のパネルをお借りして、展示し、イトーヨーカドーさんやいなげやさんは、総菜やお弁当の紹介をしました。そして池田屋さんのだしや、駅前商店ひまわりさんでは食育認定マークの該当商品を展示しました。

15ページをご覧ください。

こちらはパネル展示の様子になりますが、ライフステージの乳幼児期から高齢期まで各年代に応じた健康的な食生活の情報提供を行いました。乳幼児期の食事については保育サポート課、学齢期は学校教育課、成人期は、ぼけっとステーション様、高齢期については、和光福祉会様と長寿あんしん課で作成していただきましたポスターを掲示しました。

次に16ページをご覧ください。

こちらは、当日の様子ですが、対面企画として、農業後継者倶楽部様による「じゃがいもができるまで」の紙芝居の読み聞かせを行っていただきました。

また、各子育て世代包括支援センターさんには、赤ちゃん休憩室と合わせて育児相談を行っていただきました。

そして、試食につきましては、わこう暮らしのいきいきサービスプラザ様をはじめ、食生活改善推進委員の8名の方々やヘルスサポーターの方にご協力を頂いて、池田屋さんの天然だしを使った炊き込みご飯とセブンミールの1食で野菜120gが摂れるお惣菜シリーズの「甘辛鶏唐揚げ」の2品を提供し、208名の方にご試食していただきました。

次に17ページをご覧ください。市民まつりの後に、参加していただいた事業所の皆さんにご記入いただきましたアンケートとまつり当日に市民の皆さんからいただきました、ご意見をまとめました。ご意見はたくさんありましたので、一部を抜粋しています。

<p>司 会</p> <p>ぼけっとステーション</p>	<p>良かった点としては、栄養について、考える機会となったのではないかな。</p> <p>悪かった点、改善が必要な点としまして、商品の展示について、店内ではここにおいてありますといった表示があると、もっと関心がわくと思う。</p> <p>また、あらたにやってみたいことは、子育て世代の「お父さん」をターゲットにした情報提供（例えば、CVSやスーパーでのお子様向けの食選びの方法や若手サラリーマン世代のランチの選び方など）でした。</p> <p>そして、市民からのご意見については、高齢の市民も元気で美味しく食べることが出来る食生活を継続していくための取組を、このような場だけでなく、庁内で連携を取り合いながら進めてほしい。といったご意見もありました。</p> <p>このようなご意見をふまえて、今年度の市民まつりに限らず、食育コンソーシアムメンバー全員が同じ目的をもって、食育啓発の取組を継続し、充実した内容の情報発信をしていきたいと考えております。</p> <p>次に18ページをご覧ください。</p> <p>開催評価の実績について、「わこう食育推進店」の周知と、食に関する知識の普及の評価として、健康相談数とリーフレット配布数を実績としました。</p> <p>健康相談数は、栄養相談が3件、子育てブースで、育児相談が2名でした。</p> <p>リーフレットの配布数につきましては、食育ブースへの来場者への配布数、169枚、そして、各事業者様のご協力により各ブースで配布していただいた360枚をあわせて、529枚でした。</p> <p>これに、11ページに記載した、</p> <p>①特定保健指導で配布した数300枚</p> <p>②生活習慣病リスク改善対策事業で配布した数4枚</p> <p>③その他の事業で配布した633枚</p> <p>を合計した数937枚を合計すると、1466枚で、全世帯数の約3.56%の世帯に相当します。</p> <p>このようなツールを使つての周知を今後も継続し、より多くの市民へ周知し、健康意識を向上していきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>只今、報告がありました平成30年度の活動報告につきまして、ご質問、ご意見などがありましたら恐縮でございますが、挙手をよろしくお願いいたします。</p> <p>では、山口さん、お願い致します。</p> <p>登録して下さっている7店舗はどちら？</p>
------------------------------	--

事務局(吉田)	和光市食育推進店の7店舗は、ひまわり様、農業後継者倶楽部様、食文化研究会様、イトーヨーカドー様、あと、いなげや様。
ぼけっとステーション	増えてはいない？
事務局(吉田) 司 会	これから増やしていきたいと思っています。 その他、ご意見等がありましたらお願いをいたします。 意見などがございませんので、次の報告に進まさせていただきます。 続きまして、平成31年度活動予定について、吉田よりご説明させていただきます。
事務局(吉田)	続きまして、平成31年度活動予定について、説明させていただきます。資料2の2ページをご覧ください。
	<p>次年度につきましても、食育コンソーシアムを通じた、公民協働の取組を進めていく予定です。</p> <p>そして今年度と同様に、第3次和光市食育推進計画の施策体系であります、減塩・減糖・減脂を主とした生活習慣病の発症予防および重症化予防や自己管理能力の向上のための食育の推進を行っていきたいと考えております。詳細につきましては、来年度の第一回の食育コンソーシアム会議でお伝えできればと思いますが、事務局の方で実施を考えている、新しい取組の中から抜粋して、2つご説明させていただきます。</p> <p>1点目は 全世代に向けた取組の、「わこう食育推進店」の充実として、市内スーパーやCVSで、健康や栄養の相談をご希望されている方や、持病をお持ちの方が体にふさわしい商品を選びやすいように、また、商品の表示の見方や食べ方などのアドバイスができる、専門のコンシェルジュの配置などを考えております。</p> <p>2点目につきましては、乳幼児期やハイリスクの対応につきまして、今年度は個別ケースでの対応の他には連携をとることが試行錯誤の状態でしたけれども、来年度はリーフレットの活用による周知や個別ケースの食生活アドバイスなどを市の担当課や地域包括支援センター・子育て支援センターなどの関係事業所と連携して、生活習慣病予防の発症予防や再発予防として対応していきたいと考えております。</p> <p>詳細は、来年度の食育コンソーシアム会議第1回目で、ご説明させていただきます。</p> <p>以上で、簡単ではありますが、平成31年度の活動予定の説明を、終わります。</p>
司 会	只今、平成31年度の活動予定につきまして、事務局の方から説明をさせていただきました。先ほどの平成30年度の実績報告と合わせ

ぼけっとステーション	<p>て、平成31年度の活動予定につきましてご質問、ご意見などがありましたら大変恐縮でございますが挙手をよろしく願いたいします。では、山口さん、願いたいします。</p>
事務局(吉田)	<p>今日もファミリーマート様がいらっしゃっていますが、今回は次年度は増やして行って、どういうふうに増やしていくかというのを教えてください。</p>
事務局(吉田)	<p>食育コンソーシアムのメンバーを増やしていきたいと思っております。色々お声がけをさせていただいております。本日はファミリーマート様とえぷろん様がお見えになっていただいております。他にもお声がけさせてもらいましたが、参加が難しいといった形でお断りさせていただいております。一応、今日、お話を聞いていただいて、よろしければ来年度ぜひご参加いただきたいという風には話を伝えておまして、少しづつではありますが、増やしていきたいと考えています。</p>
ぼけっとステーション 事務局(吉田)	<p>あとひとつ、コンシェルジュはどんな感じで。 コンシェルジュにつきましては、食育推進店に栄養士を置いて、いつもじゃないのですが、お店の中で、どういうものを買ったらいいかって困っている人にアドバイスができたかと考えております。というのは以前いなげやさんで食育のマークのつけることなどをやっていた時に腎臓病を患っていて退院してきた方が、たまたまいらして、病院で入院していた時にのりが出ていたんだけれどもそののりがどこにあるのかと聞かれたことがありまして、こういう需要があるのであれば、ぜひ気軽に買えるような体制を整えたら少しでも役に立つのかなと思ったことがきっかけで、来年度はこういうことがやっていけたらと考えております。以上です。</p>
司 会	<p>その他ご意見等がございましたら、挙手を願いたいと思えます。挙手がございませんので私の方からご指名をさせていただきたいと思えます。昨年の平成30年度、まだ終わってませんが、ご協力をいただいております、有限会社池田屋物産様に、平成31年度をこういうことをやったらいいんじゃないかという専門的な何かございましたらご意見等をいただきたいと思います。よろしく願いたいします。</p>
池田物産	<p>池田物産の池田と申します。よろしく願いたいします。</p>
	<p>えーと、すごい難しい。弊社では、和食の原点というか、和食と洋食も使うのですが、一般基礎となるだしを使う、天然素材のだしを使っている会社になるので、今、弊社で一般の方で食に興味をもって頂くには、何が一番いいのかなって模索しているところです。いわゆる、どちらかというところから自分で作るという感じでおすすめているのですが、楽しみというか、食って楽しいもんなんだよなというの</p>

<p>司 会</p>	<p>を思っていたくのはどういう活動をすればいいかということ を今、模索をしています。例えばAという素材とBという素材、これを あわせるとこんな味になっちゃうんだという驚きだとか旨味がこん なに7倍8倍にもなってしまふのかってというようなそういう驚きと ともに料理する、調理する事が楽しく思えていただければ食に対する いつも食べているものに対しても意識が高まっていくのかなと。で、 準じて惣菜とかそういった調味料とかの選び方にも繋がってくるの かなというような思いがしております。そんな感じなのです。</p> <p>ありがとうございます。地域のコンビニエンスストアというところ でセブンイレブン和光新倉店の岡崎さんにお客様の反響等をお聞か せ願えれば大変ありがたいのですが。どうぞよろしく願いをいたし ます。大変失礼いたしました。本日、欠席ということでございますの で、大変失礼します。では、コミュニティストアの店長、松本様、恐 縮でございますが、反響等ございましたらよろしく願いいたします。</p>
<p>コミュニティストア (松本店長)</p> <p>司 会</p>	<p>コミュニティストアの松本と申します。私の方はコンビニになって しまいまして、作る訳ではないですからメーカーさんの方から、作っ て調理していきまして、販売しているだけなんですけれども、昨年の見 させていただいたんですけれども、若い方がやはり最近健康に興味を もっていらっしゃる方がお越しなんです、量としては少ないです。 食べるものも弁当でもがっちりしたよりかはサラダとかとかをメイ ンに、おにぎり、カップラーメンなんかを食べますけれども、なるべ くスープ系に個人的にはここ数年変わっているような感じが受けま す。ですから、何て言うんでしょうね。そんなに大量に出したり、ご 飯を食べるといふようなことがそれについてはないようなことを実 感しております。ですからこういう食育ということやらせてもらっ ているのですが、今後はやはりそれに見合うようなものを私どもの方 になってしまうのですが、メーカーさんの方にそこらへんを理解して 作っていただければといつも言っているんですけど、なかなかそうい う食材はコストが高くなってしまふんですよね。だから、ある程度抑 えた金額で、できるようにはしていきますけれども、なかなかうまく はいかない。というのが、現状です。安くってという言い方はおかしい んですが、価格がやはり下がればそれだけもって皆さん、お買いいた だけるのかなと思いますけれども、お腹一杯にするためには、むこう のデイリー屋さんで満たされるようなものが、今のところどうしても あんまり体によくないものが多いのかなという感じはします。矛盾し ていきますけど。すみません。こんな感じでいいですか？</p> <p>ありがとうございます。では、相談支援機関という方から地域包括 支援センターの方からどなたか一人何かいただければ、大変ありがた</p>

中央地域包括 支援センター (川 淵)	<p>いのですが。</p> <p>はい。10 ページのところの生活習慣病リスク改善対策でリスクのある方を抽出して電話対応をして訪問をかけて、次の事例がそれに対する事例がにつながったという形で、まあ、訪問これまでに検査認差を反省したり改善傾向があったり、実際の達成したってことをです。ねどこかにリーフレットだけでなく達成改善したってことの成功体験をです。ねぜひ、たくさん作っていただくと一つの成功体験になると思うのと、もう一つはターゲットですね。子育てレベルの対象者を救うのか国保レベルの対象者を救うのか、高齢者の対象者としてやっていくのかっていう中で、包括支援センターでは高齢者対象なので例えば今、個食の方だったり、それからやはり脳梗塞の再発防止っていうこと、糖尿病のインシュリン防止だったり、透析の防止っていうことで、いま、私たちも食事のところはすごく細かく対応させていただいています。特に配食のお弁当屋さんとかを使っているのですが、そういうところの提携とかも今後来年度に向けて入れていただくとっていうこととコンビニさんでも高齢者の方が行かれて食材の、お惣菜の選択をしているというところで、前回も確かお伝えしたと思うのですが、そういった時に例えばこういうお惣菜の選択をすると1食がこのくらいのカロリーで塩分が2g以下だよとかいうのが分かりやすくなるかと非常に注文がしやすいし、購入がしやすいと思います。どこに対象者を絞って調整をしていくかというのが今後の課題なのかなと思いました。</p>
司 会	<p>ありがとうございます。今、高齢者のお話しを承ったのですが、役所の方から教育委員会の方で、子供の関係から食についてどのようにしたのかを恐縮ですが学校教育課さんの方からひと言よろしくお願いたします。</p>
学校 教育 課 (阿 部)	<p>学校教育課 阿部でございます。私の方は、市の方でも小中学校のターゲットというところがございます。ほんとに全世代から見るとすごく短い期間のサポートという形になると思います。その中でも日々学校の中で生活をしていて、役所と接点をするという機会がなかなかございませんで、保護者様の接点の少ない中で、何をしていたらいいかというところで各学校の学校栄養職員と連携をしながら食育を出来るところを進めていこうということで、来年度、今計画していることは、保護者にむけてのレシピ集の配布ですとかそういった情報提供ですとか内容を高めていこうということで、今、考えております。小中学校から大人になっていくというところでの少しでも食育というところについて、今後、色々なことを考えていく力になってもらえればいいかなと思います。以上です。</p>
司 会	<p>ありがとうございます。</p>

<p>食文化研究会 (加藤)</p> <p>司 会</p>	<p>最後にですね、食に関しては地産地消、食文化という感じですので、加藤様からひと言伺いたいと思います。</p> <p>食文化研究会の加藤です。私たちは、保育園、幼稚園で伝統食の指導をしております。今年は、たくあん漬けと味噌づくりとパン作りをしました。パン作りに関しては、麦踏みから、脳育ということで脳のカルシトニンにも大切だということで麦踏みからやってもらいました。それで全部、麦の種まきからそれから麦を踏んで成長して真っ青になってそれが枯れてコンバインで刈って、干すところまで、全部プロジェクターで14時間です。そしたら、先生方も「私たちも全然これ知りませんでした」ということで、とても喜んでそれを見てからほっとして子供達はほんとに大感激してパンを食べて、それから、脳の心を育ててそれで食育として入るのがいいなと思って、そういう体験を増やしていきたいなと思いました。以上です。それから、さっき星野さんが食育を今全体で熱心ですよとおっしゃったけど、今、理化学研究所のレストランに例の全粒粉の麺をいかがですかと試食会をやって頂いたのですが、あそこに、どうして、コックさんに調理師さんに栄養士さんがずらっと並んで、あと人事課の方もみえて、どうして人事課の方がみえるのかなって思ったら、人事課に研究科支援課というのがあって食がとても大事だということで、とにかくレストラン側に10年後の健康も考えて出していただきたいと、そういうシステムもあるんだということが分かって、私達の地産地消で無添加っていうあの和光市でシールももらいましたという宣伝になりました。それをお出しした、うどんじゃないですね、ラーメンですねと言われて、もうほんとにうれしかったんですけど、今、製麺屋さんと理化学研究所さんが交渉して、もしかしたら第二食堂で出してもらえることになることになっております。もし、そうなったらほんとに救護時対策も解決して和光市の食育も遂行になるかなと思っています。以上です。</p> <p>ありがとうございます。会議の時間などもございますので、この辺で意見の方を締めさせていただきます。では、時間になりましたので、本日は平成30年度最後の会議となります。来年度も引き続き地域の皆様と一体となって取組を必要になりますので、ぜひ市民の健康維持増進、また、疾病予防に向けた食育の推進にご理解とご協力のほうをよろしくお願いいたします。なお、次回の食育コンソーシアム会議につきましては、5月の中旬頃を予定しております。あらためまして日程等の調整をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。</p>
-----------------------------------	--